



輪之内の授業 これだけは！

“自分でできる！”意欲と力を生み出す授業改善

導入

「知りたい」「分りたい」思いを引き出す導入づくり

- ・前単元・前時とのつながりと見通しを自覚させる3分
- ・前時の学習内容を基にした、主体的な学びにつなげる課題の設定
「3つの見届ける」

展開前段
課題追究

「はっきりさせたい」「聞きたい」思いをもつ交流づくり

- ・深い学びにつながる発問の吟味
- ・一人一人が自分の考えを持つ、じっくり考える、自分の言葉で発言する場の位置付け
- ・質問紙から読みとれる児童生徒の苦手意識を反映して、グループ・ペアを活用して対話を生む追究や交流の場・時間の位置付け
- ・黙ったままの子を「ばなし」にしないユニバーサルデザインを考慮した資料・板書

「学習状況を見届ける」

終末

「できた」「わかった」思いを確かにする終末づくり

- ・全員が書きまとめる支援の準備・見届け
- ・「学び直し」、学プリの活用
- ・学びを自覚させる評価（自己・相互・教師）

「習得状況を見届ける」

家庭学習

「より確かになりたい」「もっと学びたい」思いをもつ 家庭学習への方向づくり

- ・授業で学んだ内容を活用して進める家庭学習の推進・見届け
「定着状況を見届ける」

教師も目標を設定！

教師も

アクティブ・ラーナーに！

◆こだわりをもって指導

児童生徒が

自分でできる!って、楽しい
と実感できる授業をつくる

新しいことを知るのが楽しい
自分でやってみよう

(主体的)

仲間と一緒に学ぶのが楽しい
仲間と交流するのが楽しい

(対話的)

学ぶことが楽しい(深い学び)
活用することが楽しい

◆そのために

- ・校内研修の充実
- ・PDCAサイクル改善